

# おんごし

～おもな内容～

1. 交通共済の加入を (P1)
2. 青色申告について (P2)
3. 自治功労者の表彰 (P2)
4. 阿部君マレーシアを訪問 (P3)
5. 物価高公民館結婚にも影響 (P3)
6. 俳句で文芸活動の振興を (P4)
7. こんにちは、ふるさとさん (P4)



## 雪合戦

見舞金は(昭和47年4月1日以降に発生した交通事故による死傷の場合、次のようになりました。)

等級	災害の程度	金額
1等級	死亡した場合	500,000円
2等級	自賠責施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる傷害の場合	300,000円
3等級	治療を要した期間が6月をこえ、かつ、入院30日以上を含む実治療日数90日以上のもの	100,000円
4等級	治療を要した期間が5月をこえ、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上のもの	80,000円
5等級	治療を要した期間が4月をこえ、かつ、入院14日以上を含む実治療日数60日以上のもの	65,000円
6等級	治療を要した期間が3月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上のもの	50,000円
7等級	治療を要した期間が2月をこえ、かつ、入院3日以上を含む実治療日数30日以上のもの	35,000円
8等級	治療を要した期間が1月をこえ、かつ、入院1日以上を含む実治療日数15日以上のもの	20,000円
9等級	入院・通院の実治療日数7日以上のもの	5,000円

◎無免許又は飲酒運転、その他故意或いは重大な過失による場合等で見舞金が支払われないことがありますからご注意ください。なお、くわしいことは役場住民課へおたずねください。

## 1日1円 万-に備えみんなで再加入を

◎交通共済◎ 三月末で失効、予約は早めに

見舞金はこんなとき  
最高(死亡)五〇万円支給

共済の見舞金は、原則として運行中の車輛が歩行者に傷害を与えた場合ですが、そのほか次のような場合もできます

- ◎車輛等から物が落ち、それによって死傷したとき
- ◎水田作業中、耕うん機によって死傷したとき
- ◎車庫入れ中の車によって死傷したとき
- ◎畜舎外での牛馬による事故で死傷したとき
- ◎車輛を運転しているときまたは同乗しているときに衝突、墜落、転倒、転倒等死傷したとき
- ◎汽車、電車、バス等に乗りかかっているとき、欄から荷物落ちて死傷したとき

現代はまさに単社会といわれただけあって、これにともなう交通事故も激増し、カラスのなかにぬ日はあっても、救急車の音を聞かぬ日は、まじりません。

わたしたちの身内や、親類知人等であつたましい交通事故にあひ、苦しい悲しいおもひをされている人が大勢います。

交通共済は、そういうときに恩恵の多い制度です。三月三十一日に有効期限がきかれますので、この機会にぜひ家族全員加入するようにしましょう。

交通共済の有効期間は、毎年四月一日から翌年三月三十一日までの一年ですが、途中から加入した場合は三月三十一日に失効しますので、特に

◎注意ください。村では嘱託員(区長)を通じて、各家庭へ加入申込書を配布しますから、お忘れなく引続き加入申込みをしてください。また未加入の方もこの際ぜひ加入してください。

申込みは、予約受付しておりますので、加入申込書が配布されましたら早めに嘱託員または役場住民課へ申込みしてください。

交通共済加入割合 (48.10.1)	
県平均	43.52%
郡平均	43.58%
横越村	41.16%

◎備ねけて 下戸の盛っている 炬燵が 新年宴会、余り飲めない人が正月で少し飲んだら 苦しくなり炬燵に ぐくってしまいます。

◎炬燵して暖かくなると、さめぎを更けてなお 備ねし久し振りに集った娘達が炬燵で夜をそくまで話がつきない。楽しい炬燵です。

◎然し同じ炬燵でも、夜の底に雪の音きく炬燵が 風花や生れ来る児の 衣を纏う

◎おとしよりが一人炬燵にかまけてじつと冬の静寂に耐えている。一人ひっそりと新しいお嬢さんが炬燵で、やがて生れてくる子どもの産衣を纏っている静かな炬燵もあります。お正月も過ぎて学校が始まると、

◎風花や登校の子を一列に、白壁をたつ雪道を子供供連が 一列になつて学校へ急ぐ頭上に 風花が舞っています。久し振りに冬の陽が懐色の空を明るく照らす。

◎日射し松の秀なり 風花す

◎風花のおさまり 風花す

◎やがて晴れた冬も春めいて、◎大阿賀は崖かに流れ声の角雪どけの水をたたえた阿賀は 豊かな水を流すでしょう

◎路のとうり手許冷たき残り雪 土手の雪の下からかわい、路のとうりが芽を出して来、

◎路のとうり笠から分けて もらいけり 休みに帰りに帰る中から分けてもらった和傘がかな風景、そして春の春の鐘が始まり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 土を築く 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり

◎備ねけて 下戸の盛っている 炬燵が 新年宴会、余り飲めない人が正月で少し飲んだら 苦しくなり炬燵に ぐくってしまいます。

◎炬燵して暖かくなると、さめぎを更けてなお 備ねし久し振りに集った娘達が炬燵で夜をそくまで話がつきない。楽しい炬燵です。

◎然し同じ炬燵でも、夜の底に雪の音きく炬燵が 風花や生れ来る児の 衣を纏う

◎おとしよりが一人炬燵にかまけてじつと冬の静寂に耐えている。一人ひっそりと新しいお嬢さんが炬燵で、やがて生れてくる子どもの産衣を纏っている静かな炬燵もあります。お正月も過ぎて学校が始まると、

◎風花や登校の子を一列に、白壁をたつ雪道を子供供連が 一列になつて学校へ急ぐ頭上に 風花が舞っています。久し振りに冬の陽が懐色の空を明るく照らす。

◎日射し松の秀なり 風花す

◎風花のおさまり 風花す

◎やがて晴れた冬も春めいて、◎大阿賀は崖かに流れ声の角雪どけの水をたたえた阿賀は 豊かな水を流すでしょう

◎路のとうり手許冷たき残り雪 土手の雪の下からかわい、路のとうりが芽を出して来、

◎路のとうり笠から分けて もらいけり 休みに帰りに帰る中から分けてもらった和傘がかな風景、そして春の春の鐘が始まり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 土を築く 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり

◎春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり 春の鐘しきりに鐘しきり